

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	歯科関係者講習会	事業開始年度	① 平成10年度 ② 平成20年度	作成責任者		
担当部局	医政局	担当課室	歯科保健課	歯科保健課長 上條		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	昭和51年8月9日厚生省発医141号「歯科関係者講習会委託費交付要綱」 平成20年5月22日厚生労働省発医政第0522006号「歯科関係者講習会委託費の交付について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯科医師等に対して最新の知識や技術の講習を行い、歯科保健医療の質の向上、安全・安心で質の高い医療提供体制の充実を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 歯科医療関係者感染症予防講習会 団体が開催する歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士を対象としたHIVや肝炎等の感染症予防の講習会の実施。 ② 歯の健康力推進歯科医師等養成講習会 団体が開催する歯科医師、歯科衛生士を対象とした高齢期・寝たきり者等に対する在宅歯科医療、口腔ケア等のプロフェッショナルケアを行う専門家養成講習会の実施。					
実施状況	① 平成21年度実施件数:1件 ② 平成21年度実施件数:1件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3	19	31	27	22
	執行額	3	19	29		
	執行率	100.0	100.0	93.5		
	総事業費(執行ベース)	3	17	29		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業終了後、補助事業者から提出された実績報告書に基づき、全ての経費について支出先、用途をチェックしている。したがって、事業目的の実現や効果の観点からの検証は行われている。				
	見直しの余地	執行率が高い状況ではあるが、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。				
予算チームの監視・効率化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省 29百万円

〔 歯科医師等に対して最新の知識
や技術の講習を行う。 〕



補助金

A 日本歯科医師会 29百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.日本歯科医師会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	研修会講師の旅費等	11			
人件費	研修会講師の人件費等	11			
賃借料	研修会会場の借料等	3			
印刷製本費	研修会資料の印刷等	3			
消耗品費等	消耗品や郵送料等	1			
計		29	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)